



新北小

学校
だより

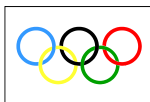
トベラの本

葛城市立新庄北小学校
NO. 6
9月  令和3年9月1日
発行者 校長 杉村茂美

2学期がスタートしました

5週間の夏休みが終わり、2学期が始まりました。長い夏休みだからこそできることをそれぞれが見つけ、有意義に過ごしてくれたことと思います。

今年は夏のオリンピックが日本で開催され、連日、その様子がテレビや新聞でも取り上げられていました。日頃の成果を存分に発揮できた選手、当日に力を出し切れなかった選手など結果は様々でしたが、精いっぱい取り組む姿や互いを讃え合う姿、目標に向かってチームで心を1つにしていく姿に感動しました。また、今大会から採用された新しい競技もたくさんあり、子どもたちと年齢の近い10代の選手も大活躍していました。



始業式の日には、そんなオリンピックの話題から、好きなことや夢中になれることが見つけられることの素晴らしさを改めて話しました。授業日数が一番長い2学期、学習や行事を通して、一人一人の力も学級集団としての力も大きく伸びるチャンスです。学校では、コロナ感染症拡大防止対策により一層留意しながら、教職員一同、子どもたちの健やかな成長を願い、取組を進めていきたいと考えています。

お子様の様子や学校生活に関わること等、ご心配なことやご不安なことがありましたら、どうぞお声がけください。

2学期も学校教育にご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

夏休み中の学校では…

長期休業期間を利用して、業者の方が消防設備の点検や貯水槽の点検・空調設備の点検等、施設や設備の点検を実施してくださいました。また、校庭の木々の剪定作業・害虫防除作業などの作業も進めていただきました。学校西側のプールも、フェンスの取り付け工事が完了しました。



安全で安心できる学校であるよう、また学習や活動がスムーズに進められる環境であるよう、私たちの気付かないところで、たくさんの方々に支えられています。



「不安」が「差別」につながらないように

日頃から保護者の皆様には、子どもたちの健康管理・健康観察にご協力いただきありがとうございます。新型コロナウイルス感染症に関しましては、近隣府県や奈良県、葛城市においても感染が続いている状況です。

ワクチン接種が始まる一方で変異株による感染拡大が報道される中、身の回りには不安も多いかと存じます。学校では、「3密回避」「マスクの着用」「手洗い」「換気」「消毒」など、基本的な対策の徹底に努めていますが、このような時だからこそ、子どもたちの心の変容にも敏感になっていきたいと思っています。

法務省のホームページに、【 STOP コロナ差別 】として、「心配のあまり誰かを傷つけているのかもしれない」「不安を差別につなげちゃいけない」「気づこう 変えよう そのひとこと」とあります。

新型コロナウイルス感染症には誰もが感染する可能性があります。不安な気持ちは一緒です。私たちが向き合わなければいけないのはウイルスです。自分自身や家族、大切な人の身を守る行動をとるとともに、不安が差別につながらないように、今一度、保護者の皆様と思いを共有させていただければ幸いです。

相手の立場に立って、正しい知識をもとに、思いやりをもって接することができるよう、また、差別や偏見によってプライバシーや人権を侵害することのないよう、教職員一同、努めてまいります。そして、子どもたちの言動が、友だちを傷つけたり差別したりすることにつながらないように、何気ないつぶやきにも耳を傾けながら、日々の指導、支援、心のケアを進めてまいります。

保護者の皆様にも、ご理解とご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

